

プロジェクトマネジメント学会2025年度春季研究発表大会プログラム第1日 (3月13日) 於: 東洋大学 白山キャンパス (東京都文京区)

時間	第1会場 6201教室(6号館2階)	第2会場 6202教室(6号館2階)	第3会場 6203教室(6号館2階)	第4会場 6204教室(6号館2階)	第5会場 6205教室(6号館2階)	第6会場 6206教室(6号館2階)	第7会場 6207教室(6号館2階)	第8会場 6208教室(6号館2階)			
9:00-	受付										
9:50-10:00	【オープニングセレモニー】会場: 6210教室 (6号館2階) 東洋大学学長 矢口 悦子 プロジェクトマネジメント学会会長 関 哲朗 (文教大学)										
10:00-11:00	【キーノート1】会場: 6210教室 (6号館2階) 同時通訳の自動化~けいはんなで誕生し、EXPO 2025 大阪・関西万博で花開く~ 隅田 英一郎 (情報通信研究機構 フェロー)										
11:00-11:30	休憩										
	越前 辰美(北海道日立システムズ)	三好 きよみ(産業技術大学院大学)	河村 智行(慶應義塾大学院)	野中 誠(東洋大学)	新谷 幸弘(千葉工業大学)	中田 圭(NTTデータ)	鈴木 賢一(日本電気)	-			
11:30-12:30	1101 COVID-19ワクチン接種プロジェクトの残した課題 吉田憲正(オフィスYOSHIDA)	1201 プロジェクトマネジメントにおける人間的視点の統合: 人間中心のアプローチの成功要因 中田孝一	1301 精度の高い予測の思考パターン 平尾英司(日本電気)	1401 ITサービス組織における知識共有プロセスのプロジェクト、プログラム、ポートフォリオ視点に基づく考察 遠藤洋之(BJIT)	1501 プロジェクト・プログラムマネジメントの歴史の変遷と新たな潮流 佐藤達男(広島修道大学)	1601 新興技術の早期の社会実装を促す生成AIの活用可能性 藤田元信(慶應義塾大学)	1701 伴走型PMOの実践と考察 在間康隆(日本アイ・ピー・エムデジタルサービス)	-			
	1102 問題発見・問題解決型データ分析PBLにおけるプロジェクトマネジメントの導入と評価 加藤翔一郎(名古屋産業大学)	1202 情報システム開発における顧客満足度と関係が深い項目の調査 園野将大(千葉工業大学)	1302 予測のテンプレートの実プロジェクトへの適用 矢野有美(日本電気)	1402 プロジェクト成功の鍵: ASPとパワースキルの融合による価値創出 林玲奈(コムチュア)	1502 自動車産業におけるソフトウェアサプライチェーンリスクマネジメント 三宅浩司(ブラック・ダック・ソフトウェア)	1602 システム開発・サービス提供における原理原則の標準化 富樫慧乃辰(NTTデータグループ)	1702 ストーリーポイントと実績時間の関係分析による見積もりの妥当性検証 香坂茉莉花(日立製作所)	-			
	1103 あいまいな進捗報告「Extended & Pretended」を防ぐためのプロジェクトマネジメント方法の考察 川端望美(日本アイ・ピー・エム)	1203 Retrieval-Augmented Generationを用いたガイドライン回答システムの提案 久田大地(日本電気)	1303 業務アプリケーション開発における早期リスク分析とその対応について 徳永恭之(日立製作所)	1403 常駐型保守プロジェクトにおけるナレッジマネジメント 高瀬渉(富士通)	1503 OJT期間にフォーカスしたコミュニケーション・マネジメントと教育の効果について 王緑杉(日本アイ・ピー・エムデジタルサービス)	1603 大規模プロジェクトにおけるQC7つ道具を用いた不具合収束に向けた施策事例 長谷川大輔(日本電気)	1703 システム障害の未然防止に向けたプロセス指向の原因分析 金祉潤(クレスコ)	-			
12:30-13:45	休憩										
	長久 幸雄(日本IBM)	田村 史彦(富士通ラーニングメディア)	大石 達哉(富士通ラーニングメディア)	宮島 賢悟(日立社会情報サービス)	-	畠山 洋(富士通)	福田 靖(日本電気)	-			
13:45-15:05	1104 クラウドモダナイゼーションにおけるプロジェクトマネジメントの考察 栗原理(日本電気)	1204 システム開発の生産性向上に関する考察: 生成AIとルールベースの比較と組み合わせの模索 山下武志(NTTデータ)	1304 価値創造型プロジェクトにおけるプロジェクト推進について 井上正(日立製作所)	1404 行動経済学を用いたプロジェクトマネジメントの実践 佐藤昌博(日立製作所)	IPMA Young Crew session テーマ: ICBが示すリスク・マネジメントの実践 参加者: 35才以下のPM学会春季大会参加者	【研究委員会セッション】 1604 ウェルビーイングなプロジェクトでの価値交換 野尻一紀(キンドリルジャパン・テクノロジーサービス)	1704 多店舗チェーンにおけるIT投資効果を最大化するシステム導入についての考察 北村悠(NECソリューションイノベータ)	-			
	1105 生成AIを活用したデジタルヒューマンサービスのステークホルダーマネジメント実践 渡辺尚弘(NTTデータグループ)	1205 プロジェクト活動の品質・生産性向上に向けた生成AI用入力テンプレート整備の取り組みについて 堀越舞(三菱電機インフォメーションシステムズ)	1305 初物リスク対策を重視した品質管理が導く大規模プロジェクトの成功 吉田憲一(NECネクサソリューションズ)	1405 システムズエンジニアリング教育による要求分析の円滑化について 草川靖大(日本電気)	講演者: 木野泰伸氏(筑波大学 PM学会理事) 内容: プロジェクトには多くのリスクが存在し、それらを適切にマネジメントすることがプロジェクトの成否に影響を与えます。 本講演では、IPMA ICB の 5.5.11「リスクと機会」の内容をもとに、リスク・マネジメントの実践に必要なコンピテンシーについて講演いただきます。グループディスカッションを行います。	1605 IT人材の転職における他者からの支援に関する業務領域による比較 三好きよみ(東京都立産業技術大学院大学)	1705 マルチベンダー体制におけるプロジェクトマネジメントの課題および課題解決に向けたアプローチ 西田佳奈(日本アイ・ピー・エム)	-			
	1106 マイクロサービスで構成されたシステムのアジャイル開発における生産性向上・品質確保に向けた取り組み 牧野晃大(富士通)	1206 顧客組織に対するコミュニケーションを活用したステークホルダーマネジメントの対策事例 荒井智行(日立製作所)	1306 大規模基幹システムにおける構成管理ツール移行事例の研究 森本憲悟(日本電気)	1406 基幹業務保守プロジェクト運営に関する事例紹介および課題・展望の考察 笠井明久(日本アイ・ピー・エムデジタルサービス)		1606 アジャイル型プロジェクト推進のリスクと機会 中村健治(セントラルビレッジコーポレーション)	1706 異なる特色のプロジェクトにおけるマネジメントについて 清水大輝(日立製作所)	-			
	1107 プロジェクト横断型の業務スペシャリストチーム設置に関する考察 平田久也(日立製作所)	1207 2年以上の遅延を乗り越えた基幹システム刷新プロジェクトの事例 浅野晃(日本電気)	1307 DX時代におけるプロジェクトマネージャーの役割再定義と新たな価値創出モデルの提案 佐藤雅子(日本アイ・ピー・エムデジタルサービス)	1407 ITエンジニアのキャリア開発における経験学習の必要性と方向性について 田中信行(NTTデータグループ)		1607 多様な非階層型統制の潮流: アジャイルと先進モデルの類似点と差異に迫る 新谷幸弘(千葉工業大学)	1707 組織・チームの変革のためのアジャイル変革指標とそれに基づく改善活動の検証 水野浩三(日本電気)	-			
15:05-15:30	休憩										
15:30-17:15	【プロジェクトマネジメント学会各賞の受賞者記念講演】会場: 6210教室 (6号館2階)										
	表彰講演(1) PM実施賞本賞 「NECが全社横断で挑む、コーポレート・トランスフォーメーション」 日本電気株式会社 小玉 浩				<春季大会での講演を伴わない表彰者・団体の皆様> プロジェクトマネジメント功労賞 千田 貴浩 様 梅田 政信 様						
表彰講演(2) 学会賞 「Back to Basics (Project Purposeの重要性)」 キンドリルジャパン株式会社 上坂 貴志				PM実施賞本賞 株式会社NTTデータ 殿 株式会社日立製作所 殿				PM実施賞奨励賞 富士通株式会社 殿 PM実施賞審査委員会特別賞 三井情報株式会社 殿 富士通Japan株式会社 殿 東洋学園大学 本庄研究室 殿			
17:15-17:30	休憩/ネットワーキングへ移動										
17:30-19:00	ネットワーキング 会場: 食堂 (8号館地下1F)										

プロジェクトマネジメント学会2025年度春季研究発表大会プログラム第2日 (3月14日) 於: 東洋大学 白山キャンパス (東京都文京区)

時間	第1会場 6201教室(6号館2階)	第2会場 6202教室(6号館2階)	第3会場 6203教室(6号館2階)	第4会場 6204教室(6号館2階)	第5会場 6205教室(6号館2階)	第6会場 6206教室(6号館2階)	第7会場 6207教室(6号館2階)	第8会場 6208教室(6号館2階)
9:15-	受付							
10:00-11:00	<p align="center">【キーノート2】会場: 6210教室 (6号館2階) 2030年に到来するデータ駆動社会に向けた戦略的な取り組み 平本 健二 (独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) デジタル基盤センター長)</p>							
11:00-11:20	休憩							
	西田 佳奈 (日本IBM)	櫻澤 智志 (日本IBMデジタルサービス)	臼井 明久 (富士通)	野元 拓也 (日立ソリューションズ 日本)	三角 英治 (NTTデータグループ)	佐藤 慎一 (NTTデータグループ)	竹内 浩 (日本電気)	-
11:20-12:20	2108 先例がないサービス開発における要件整合の重要性と実証実験を活用した開発手法の考察 黒瀬晴加 (日本電気)	2208 エンタープライズシステムにおけるプラットフォームエンジニアリング~プロダクトの成長とともに進化するクラウドネイティブ基盤~ 工藤佑介 (NTTデータグループ)	2308 教員養成課程における産学連携プロジェクトマネジメント教育の試験的実践 室伏春樹 (静岡大学教育学部)	2408 大規模システムにおけるチームビルディングの考察 毛呂太一 (日立社会情報サービス)	2508 スタートアップ型組織の現場マネジメント~自律型組織の育成と多様性の受容~ 中川弘一 (日本アイ・ピー・エムデジタルサービス)	2608 グローバルチームでのAgile開発推進 山内宏真 (富士通)	2708 大学生のウェルビーイングにおける推し活の役割 貝増匡俊 (神戸女子大学)	-
	2109 AIを活用したプロジェクトマネージャー (PM) 育成支援の提案 半田雅一 (コムチュア)	2209 アプリケーション保守運用プロジェクトにおけるAIを活用したチケット管理業務の効率化事例 跡見泰広 (日本アイ・ピー・エム)	2309 大学生を対象としたオペレーション実務の理解効果に関する検討 吉村喜予子 (法政大学)	2409 スケジュール遅延の真因と立て直し 岡野了 (日本アイ・ピー・エムデジタルサービス)	2509 「七つの習慣」を活用したプロジェクトマネージャーの成長支援 篠原正洋 (大興電子通信)	2609 ゼロから始めるプロジェクト赤字化の予兆検知 清本隆司 (クレスコ)	2709 多様な働き方社会における組織力向上に向けた取り組み事例 大関一輝 (クレスコ)	-
	2110 製品・サービスのUX向上のためのデザインプロンプト開発 青島寛太 (富士通)	2210 セキュアな開発環境構築に向けた作業統制手法と生成AI活用の検討 岩崎一隼 (日立製作所)	2310 人間の行動プロセスに着目したインシデント真因分析の手法とその手法を応用した研修の成果 角正樹 (NTTデータユニバーシティ)	2410 スタッフ部門参画による受注前リスクの対応手法 栗原義人 (日立社会情報サービス)	2510 内発的動機づけによる利用者の顧客ロイヤリティ向上の方法論 康永直樹 (早稲田大学)	2610 大規模プロジェクトにおけるリモートワーク・コロケーションの効果的活用について 大竹航平 (日本電気)	2710 プロジェクトメンバーのモチベーションを低下させない教育施策 長久幸雄 (日本アイ・ピー・エム)	-
12:20-13:20	休憩							
13:20-14:20	<p align="center">【キーノート3】会場: 6210教室 (6号館2階) 企業変革を実現するためのデータ戦略と実践 —データからインテリジェンスへ— 浦本 直彦 (花王株式会社 執行役員 DX戦略部門 データインテリジェンスセンター長)</p>							
14:20-14:40	休憩							
	在間 康隆 (日本IBMデジタルサービス)	齋藤 祥 (富士通ラーニングメディア)	岡本 一真 (富士通)	神野 学 (日立製作所)	角 正樹 (NTTデータユニバーシティ)	堀 賢志 (日本電気)	高田 淳司 (日本電気)	田中 芳彦 (日立アカデミー)
14:40-16:00	2111 プロジェクトマネジメントを認知する動機づけの考察 バージョン2 櫻澤智志 (日本アイ・ピー・エムデジタルサービス)	2211 システムマイグレーションにおける生成AIの適用プロセス 松尾匠 (NTTデータグループ)	2311 初めてのクラウド開発を成功させるためのプロセス事前検討について 金子陽介 (日本電気)	2411 日本国における法制度化に伴うビジネス検討 森尾智治 (日立製作所)	2511 デザイン思考とアジャイル開発を用いたサービスブランディング戦略による社内サービスの創出 岡安明香 (富士通)	2611 システムマイグレーション対応における要件定義の際の考慮点と実践 真壁文彦 (NECソリューションイノベータ)	2711 分散拠点プロジェクトのコミュニケーションマネジメントの課題と対応 佐藤大一郎 (日立製作所)	2811 PMや有識者の人材不足と過負荷状態の解消に着目したプロジェクト管理手法 福島剛 (NTTデータグループ)
	2112 トップダウンとボトムアップを両立する現場革新活動による組織マネジメント力の向上 藤井社宇 (日本電気)	2212 生成AI時代におけるPMコミュニティ 金子英一 (コムチュア)	2312 ローコードツールを活用した要件確認工程の実施とその効果について 唐津知子 (日立社会情報サービス)	2412 ソリューション開発における英語圏拡大に向けた取り組み 宮城唯矢 (富士通Japan)	2512 システムベンダによる地域金融機関向けクラウドサービスにおける保守運用の成功要因 古田尚子 (日本電気)	2612 大規模言語モデルを活用したテスト項目分析の提案 小野寛明 (日本電気)	2712 IT製品保守における問い合わせシステム統合を通じた契約フローの改善活動 佐藤清 (NTTデータ先端技術)	2812 プロジェクトメンバーへのメンタルヘルスマネジメント 矢川淳 (日立製作所)
	2113 ネットワーク型プロジェクトにおける運営上の課題解決に向けた対策検証 大竹竜慈 (日立製作所)	2213 公共システムのモダナイゼーションにおける開発プロセスの策定と実行 早田登紀子 (日本電気)	2313 ローコード開発におけるプロジェクトマネジメントの工夫 横田純一 (富士通Japan)	2413 バングラデシュにおける日系シニア中企業経営者による企業成長プロセス分析 種村秀和 (筑波大学大学院)	2513 アジャイル開発未経験者における学習有効性の検証 木村尚貴 (クレスコ)	2613 要件定義工程の曖昧さが後続プロジェクトに与える影響とその対策 菊田和良 (日立製作所)	2713 ERPパッケージ導入プロジェクトにおける習熟度定着施策 東田龍二 (日立システムズ)	2813 プロジェクトマネジメント力強化のための実践的な教育プログラム事例 井上恵太 (三菱電機インフォメーションシステムズ)
	2114 横断的組織と現場が一体となり品質及び生産性の改善事例 山根宏昭 (日本電気通信システム)	2214 生成AIを活用したレビューチェックリスト作成の効率性と有効性の検証 西本真由 (日立製作所)	2314 LLMを活用したプロジェクト工数および生産性改善効果の概算手法に関する研究 野々口大幹 (NTTデータグループ)	2414 東南アジア (インドネシア) におけるプロジェクトマネジメントに関する考察 西村信也 (NTTデータ)	2514 データ活用におけるデータガバナンスの重要性とPMの役割について 河合則夫 (コムチュア)	2614 パッケージ適用における要件定義工程での進捗管理と品質評価の考察 田谷基教 (日立システムズ)		